

EV充電サービス



WeCharge





電気の未来を描くんだ。

ユビ電株式会社

代表取締役社長 山口 典男

ユビ電はソフトバンクの新規事業提案制度「ソフトバンクイノベーション」にて1,000件を超える中からグランプリに選ばれ、創出された事業です

設立

2019年4月19日

住所

東京都港区三田1-1-14 Bizflex麻布十番4F

株主

共同創業者3名、SBIインベストメント、ENEOSイノベーションパートナーズ、オムロンベンチャーズ、オリックス、住友三井オートサービス、ソフトバンク、東急不動産HD、東京ガス、パナソニック、富士電機、フソウHD（50音順）

事業内容

充電サービスの管理・運営、環境価値創出事業



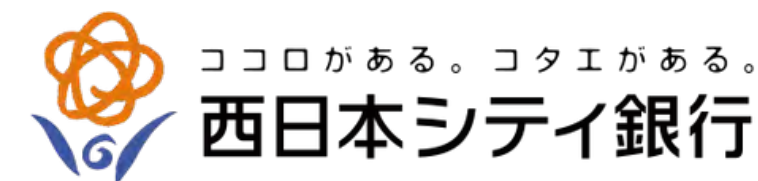
[動画をご覧ください！](#)





マンション・アパートを中心に標準採用

新築マンション・アパートでは全区画WeCharge導入が全国で続々誕生しています



EV充電の基本は 「おうち充電」

新築マンションは
全駐車区画に専用充電設備



すべての新築分譲マンションに
WeChargeを標準採用



新築分譲マンション駐車場の
全区画にEV用充電コンセントを標準設置



「プラウドタワー相模大野クロス」
自走式平置駐車場全区画207台EV充電対応



「ブランズ上目黒諏訪山」

全戸分の自走式平置き駐車場全区画にEV充電器を設置



参照

<https://www.proud-web.jp/mansion/f116160/>

<https://lions-mansion.jp/>

<https://sumai.tokyu-land.co.jp/>

WeCharge最新事例 - 個別設置・全区画専用利用

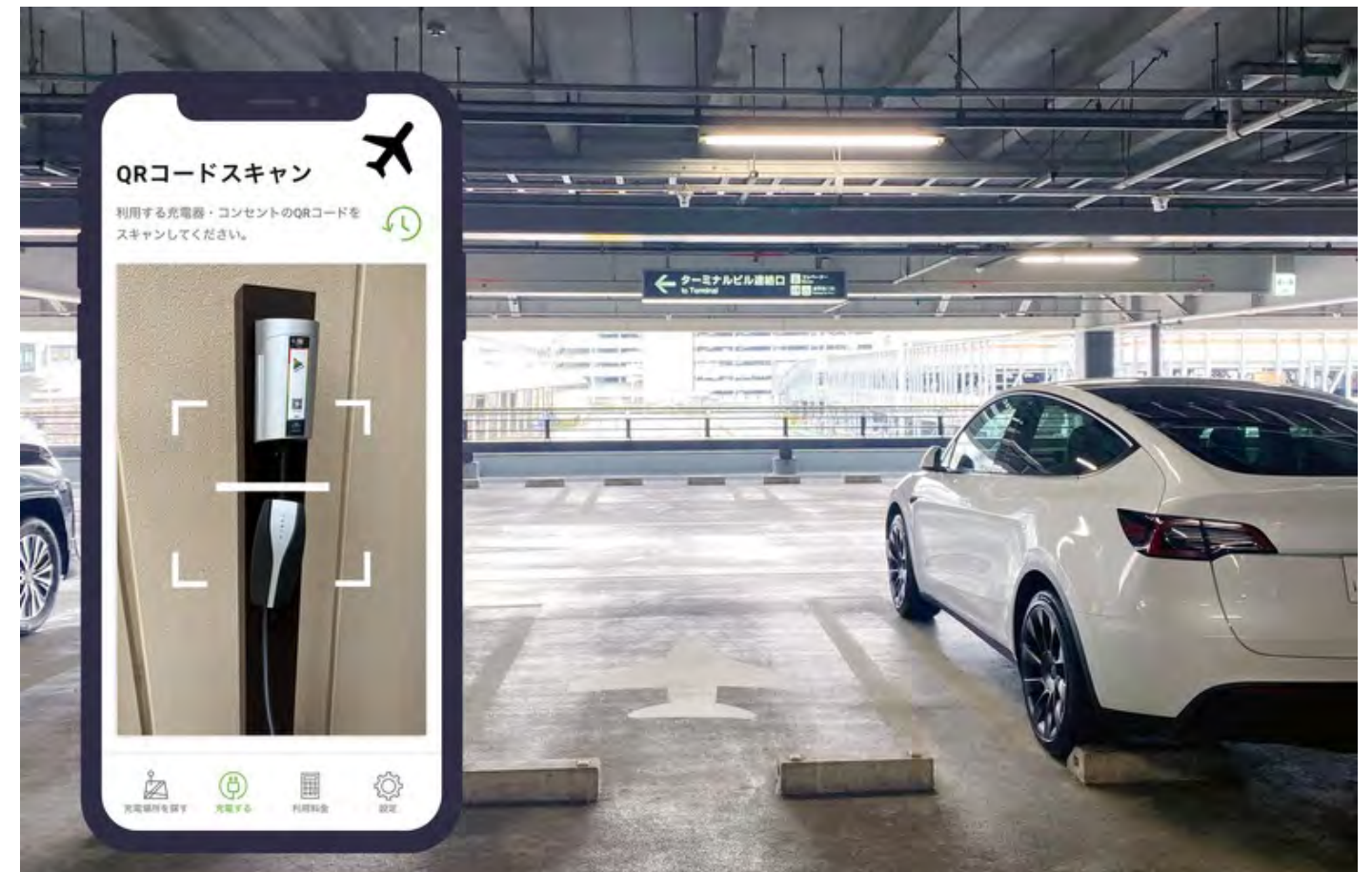
フォレストプレイス香椎照葉ザ・テラス（福岡県）
既築分譲マンション駐車場 **全429区画にEV充電コンセント設置**



WeChargeのプラットフォームは、全429基のEV充電用コンセントを使って全車両にスマート充電を可能にします。

この統合的な電力制御により、余剰電力をEV充電に活用し、ピークシフトやピークカットを通じて電力需給の安定に貢献します。このシステムを導入することで、EV所有者は充電料金を削減し、経済的な利点も享受できます。

大阪国際空港（伊丹空港）
国内空港で最大規模となる**184基のEV充電コンセント設置**



関西エアポートが提供する駐車場予約サービスでは、2024年初めに全184車室にEV充電用の3kWコンセントが設置される予定です。

これにより、EV利用者は「確実に充電できる安心感」を手に入れ、大阪国際空港を気軽に訪れることができるようになります。旅行や出張から帰ってきた際には、すでに充電が完了したEVに乗って、スムーズに帰宅することが可能になるでしょう。

事例紹介



プレステージ杉並

全区画設置を全会一致で決定。
住民からの反対意見ゼロ！

種類：分譲マンション

築年数：34年（竣工1989年3月）

駐車場：全41区画（地下38区画、地上3区画）

総戸数：39戸

<https://note.com/wecharge/n/ncbefea6063cc>



プレステージ杉並



外観



充電口(地下区画)



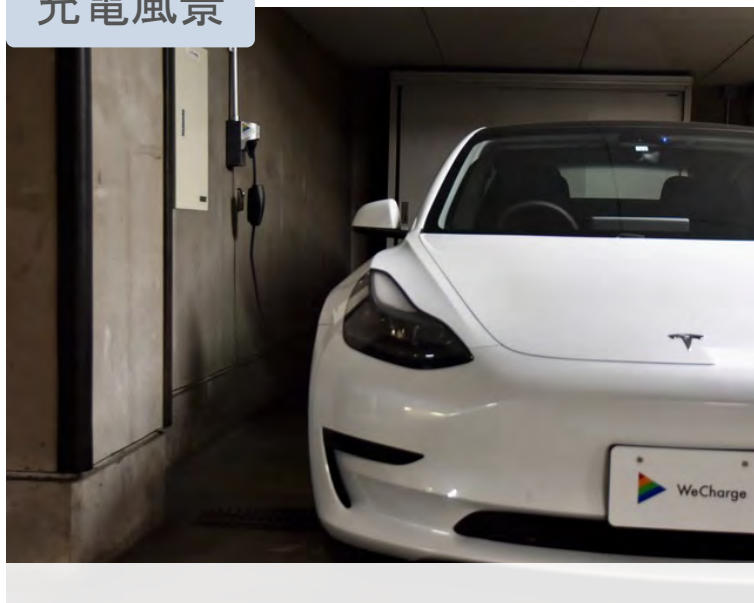
充電口(地上区画)



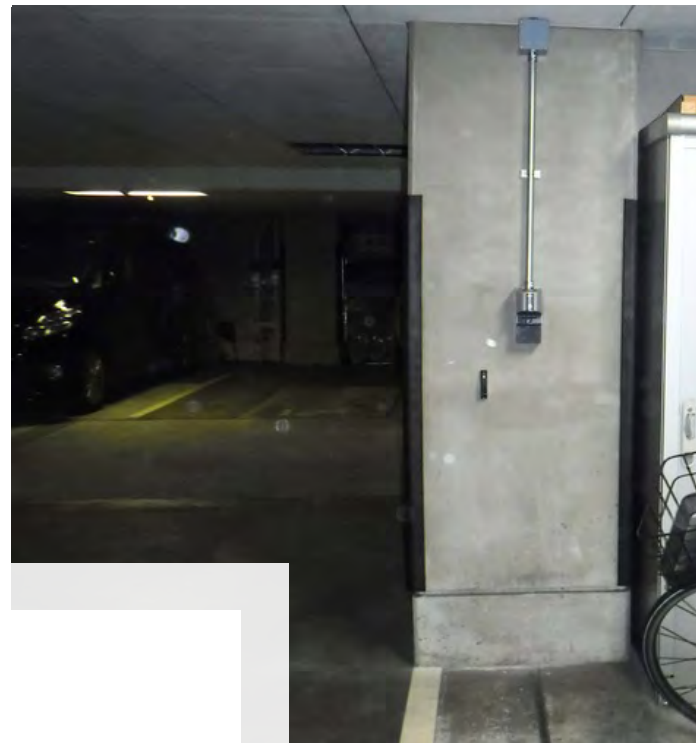
引込柱



充電風景



充電口



HUB設置



HUB設置

2022年12月 運用開始 / 東京都 / 分譲マンション
既築 / 平置き駐車場(地下+地上) / WK4322 41基
電気別引込 / WeChargeHUB:壁掛け盤 ポール付け設置

朝日プラザ郡山 セントラルステージ

ランニング費用ゼロが
導入の決め手！

種 類：分譲マンション

築年数：34年（竣工1989年7月）

駐車場：全37区画（居住者用36区画、来客用1区画）

総戸数：106戸

<https://note.com/wecharge/n/n4e302815953a>



朝日プラザ郡山 センtralステージ



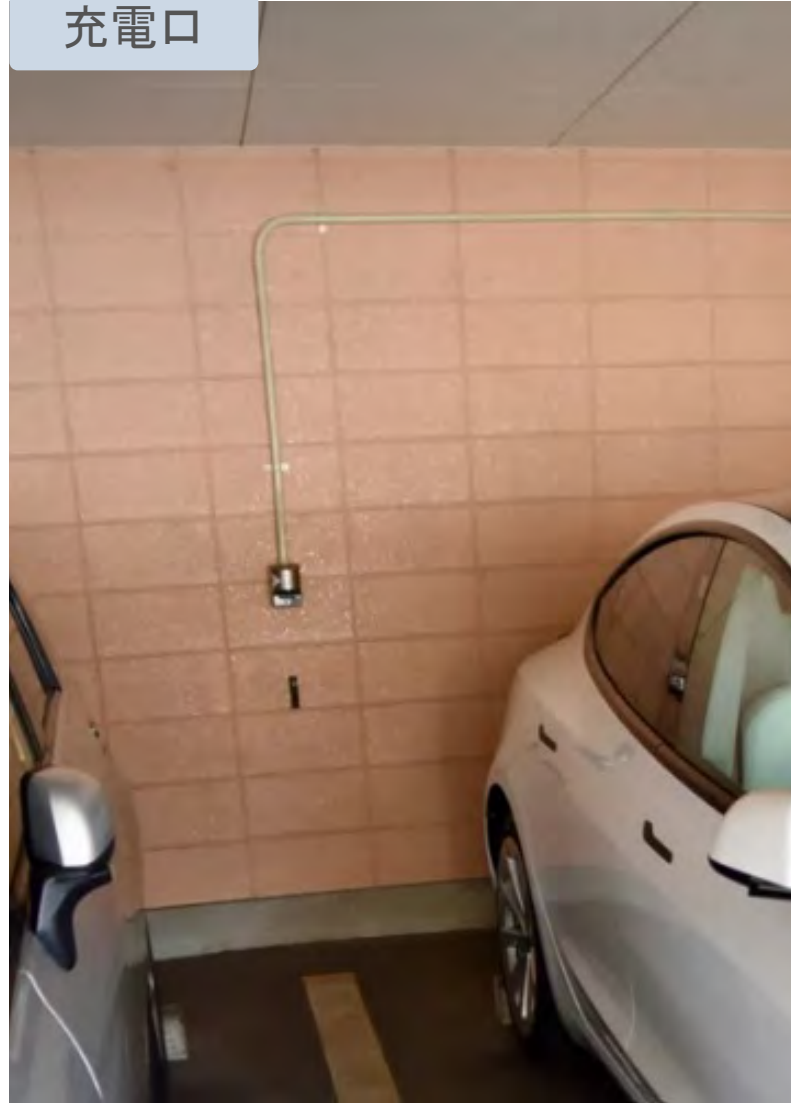
6kW充電器



充電口



充電口



外観



2022年12月 運用開始 / 福島県 / 分譲マンション
既築 / 平置き駐車場 / WK4322 7基 DNH326 1基
電気別引込

コスモ麻布十番

全区画設置の合意形成は
「徹底した受益者負担」が重要！

種類：分譲マンション

築年数：23年（竣工2000年1月）

駐車場：全5区画

総戸数：21戸

<https://note.com/wecharge/n/n5457696c7188>



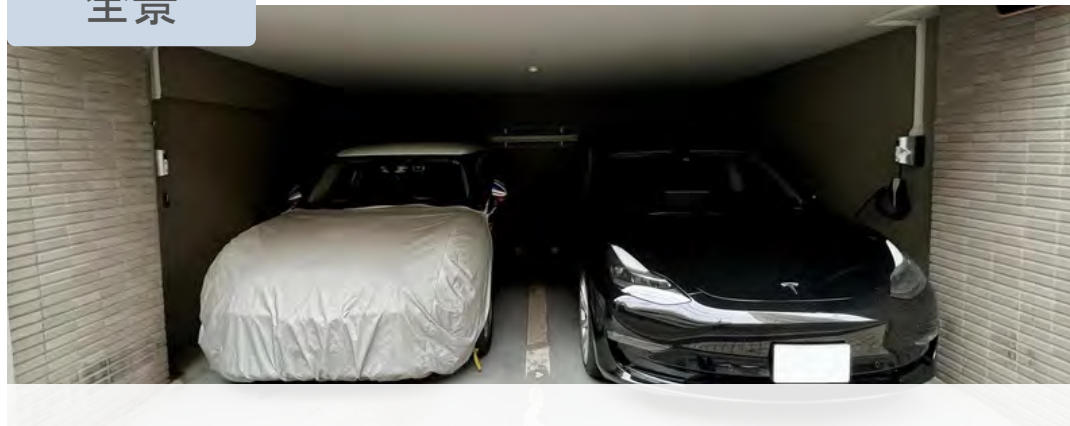
コスモ麻布十番



外観



全景



充電風景



HUB設置



充電口



2022年11月 運用開始 / 東京都 / 分譲マンション
既築 / 平置き駐車場 / WK4322 5基
電気共用分岐 / WeChargeHUB:壁掛け盤 壁面設置

コスモ麻布十番 理事長の経験談

最初に結論 | これが重要 or マスト(小さなことも含む)

導入を思いついてから運用が始まるまでの一連の流れを経験してみて、
「ここが重要だった」「これはマストだった」と自分が感じた点は、こんなものでした

- 重要ポイントは99%、合意形成にあり
- 「EVに乗っていないEV理解者」を増やす
- 「充電設備を入れたい」とは言わない
- スケジュールの軸になるのは補助金

コスモ麻布十番 理事長の経験談

重要ポイントは99%、合意形成にあり

「EV充電コストを負担するのは、EV充電をする人だけ」を実現する技術は、すでにある。
重要なのは、「EV充電をしない人」の「今、導入すべき理由・背景」への納得感

- 納得感のある合意形成のための大前提は、「EVに乗っていない人は、EV充電のことをまったく知らない」という、ごく当たり前の事実を常に意識すること。
- この前提に立ち、「EV充電コストを負担するのは、EV充電をする人だけ」という**受益者負担の原則の徹底**が必要になる。
- 受益者負担の原則をEV充電設備導入に反映させるには「**共用部の電気代とEV充電に使われた電気代を切り分けること**」がマスト。
- （良い悪いとは関係なく）社会のEVシフトは避けられないため、**近い将来、EV充電設備は「集合住宅の駐車場なら当然あるもの」と認知される**ようになる。
- 一方で、EV充電設備の設置が進めば、設置を後押しするための補助金はだんだんと不要になっていき、自前の設置費用負担は重くなる。だったら、**補助金の手厚く出る今のうちに設置するのが、マンション全体の経済合理性にかなう**——との機運が高まるとよい。

8

コスモ麻布十番 理事長の経験談

「EVに乗っていないEV理解者」を増やす

「個人的利益のためだけにEV充電設備を導入しようとしている」と思われないうために、合意形成プロセスで「EVに乗っていないEV理解者」を一人でも多く増やしましょう

- 大事なことなので繰り返すと、**EVに乗っていない人は、EV充電のことをまったく知らない。**
- だから、EV充電のことよりも前に、EVの特徴やエンジン車との違い/共通点、エネルギー補給の仕方など、「**そもそもEVを所有・運用するということは、具体的にどういうことか？**」を、EVに乗っていない人に丁寧に説明し、理解してもらうことが重要。
- こうした過程の中で、「**自分はEVに乗っていないし、今のところ乗る予定もないが、導入メリットは確かにある**」とのポジティブな意見を口に出して表明してくれる**理解者**を増やすのがよい。
- もし、導入したい場所が分譲マンションで、自分が区分所有者であれば、**自分が管理組合の理事になって汗をかくと話が早い**。「自分がこの導入プロジェクトのマネージャーなんだ」という当事者意識を持てば、必ず導入できます！

コスモ麻布十番 理事長の経験談

「充電設備を入れたい」とは言わない

「充電設備を入れたい」と言ってしまうと、「多額の費用がかかりそう」との誤解が生じる。
「コンセントをつけたい」という、大げさ感のない言い方を説明の中で貫きましょう

- 大事なことなので何度も繰り返すと、**EVに乗っていない人は、EV充電のことをまったく知らない。**
- **EVに乗っていない人が「EV充電設備」と聞くと、直感的にイメージするのは急速充電設備。**「多額の費用をかけ、なにやら大変な工事の末に完成し、維持費も高額となる設備を導入する」ように誤解してしまう。
- こうした誤解を生まないため、「**コンセントをつけたい**」という言い方を、あらゆる説明の場で貫くのがよい。
- EV充電用の200Vコンセントは**家庭用エアコンのコンセントと同じ**。200Vコンセント自体はAmazonなどで安価に買え、故障の可能性や維持費も限りなくゼロ。
- **200Vコンセントと「共用部の電気代とEV充電に使われた電気代の切り分けをできるサービス＝WeCharge」をセットで提示**すると、（初期導入コストはともかく）維持・運用コストについては心配いらない、という理解につながる。

コスモ麻布十番 理事長の経験談

スケジュールの軸になるのは補助金

EV充電設備の設置に係る行政の補助金は、毎年度初めに制度概要が発表されている。補助金額がはっきりしてから導入決議をする順序を組み、導入是非の論点を絞りましょう

- 200VコンセントとWeChargeをセットで導入する提案とすると維持・運用コストの問題は解決するため、**残る論点は「EVに乗っていない人が、なぜ、EV充電設備の初期導入コストの一部を負担するのか」**だけになる。
- そこで、手厚い補助金があることを説明しつつ、「**補助金を利用できなければ導入しない**」とのスタンスを示し、コスト負担への不安の声に応える。
- このスタンスを守ったうえで「**補助金を抜いた自前負担金額＝実質の初期導入コスト**」と整理し、この金額を許容できるかどうか、さらに論点を絞っていく。
- このように論点が絞られた導入決議とするためには、**補助金の金額がはっきりしてから（＝採択されてから）導入決議をする**スケジュールとするとよい。
- こうするために重要なことは2つ。①**補助金の申請受付開始後なるべく早く申請できるよう準備**を予め進めておくことと、②**申請から採択までの日数を読み、採択から日を置かず導入決議**を行えるスケジュールを組み立てること。

▶ 動画をご覧ください！

マンションには

コンセントが一番





いつでも好きな時に充電



個別設置・全区画で専用利用



共用運用はトラブル多く
マンションに新たな火種を招きます

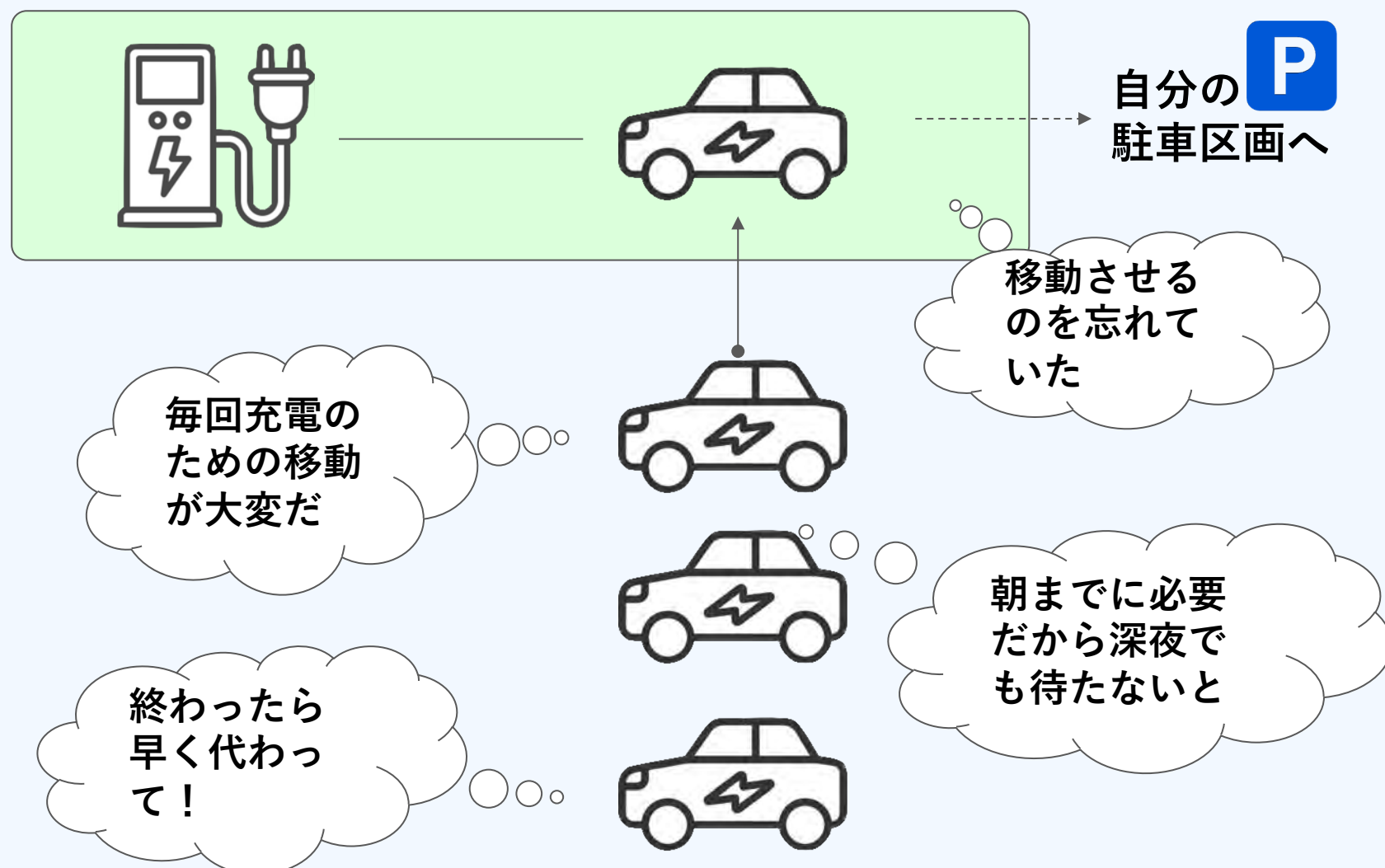
個別設置 & 全区画専用利用が最適



WeCharge

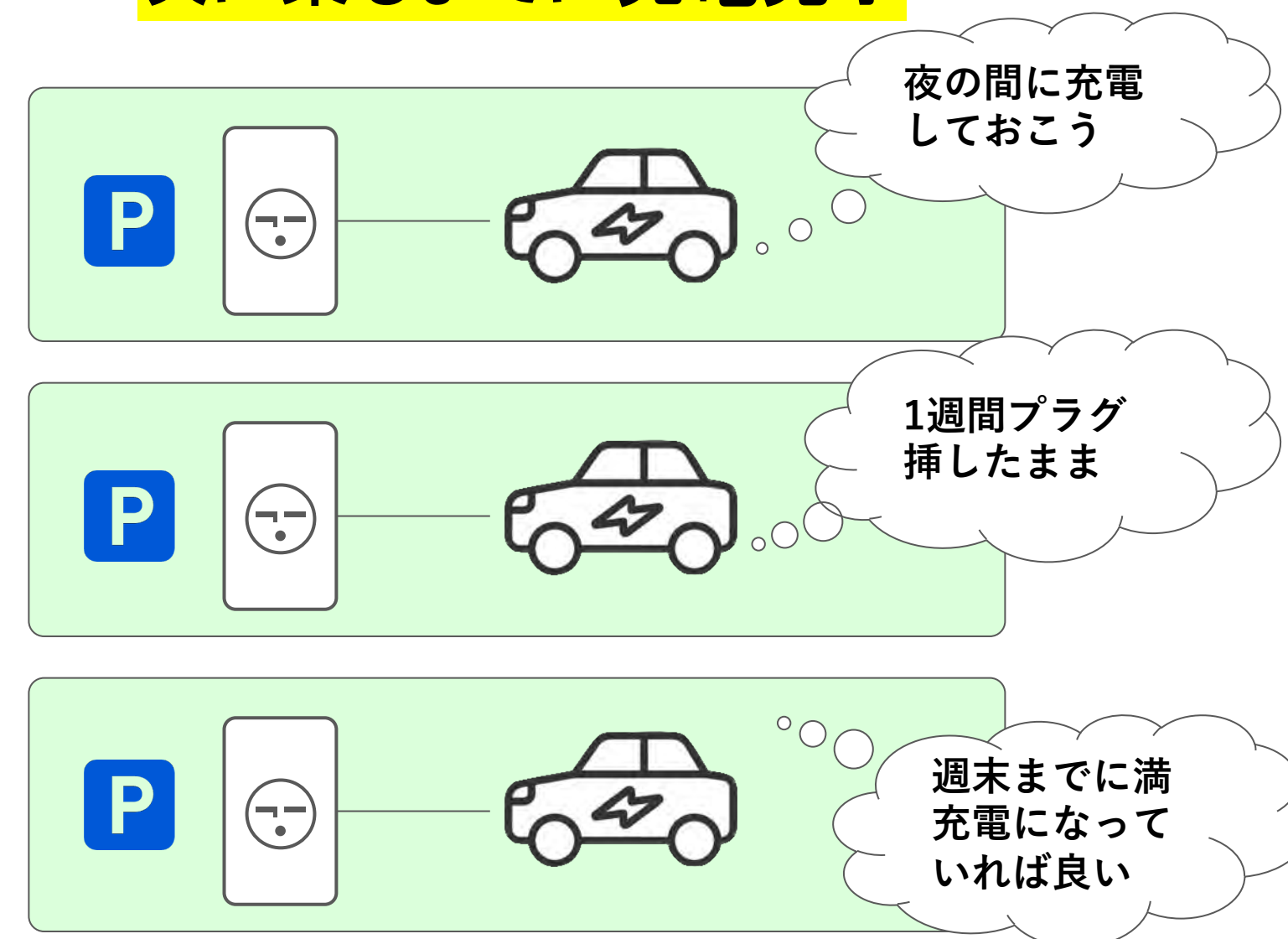
シェア型/共用充電

ガソリンスタンドの世界をマンションで再現



個別設置型/専用充電

次に乗るまでに充電完了



個別設置 & 全区画専用利用が最適



WeCharge

シェア型/共用充電

ガソリンスタンドの世界をマンションで再現

待つ
充電

自分の **P**
駐車区画へ

移動させる
のを忘れて
いた

毎回充電の
ための移動
が大変だ

終わったら
早く代わっ
て!

朝までに必要
だから深夜で
も待たない

個別設置型/専用充電

次に乗るまでに充電完了

待たない
充電

夜の間に充電
しておこう

1週間プラグ
挿したまま

週末までに満
充電になって
いれば良い

EVの基本はおうち充電

駐車したらEVをコンセントに接続、次乗るまでに満充電

一般的なイメージ

共用区画への少数充電スタンド設置で
充電前後に移動の負担



EV利用者は
「不満」を抱えながら自宅充電

WeChargeなら

専用区画へのスマートコンセント設置で
「待たない充電」を実現



いつでも充電できる
自由で「快適」なEV充電ライフ

自宅充電（基礎充電）でEVライフを満喫

一般的なEVの航続距離

EV

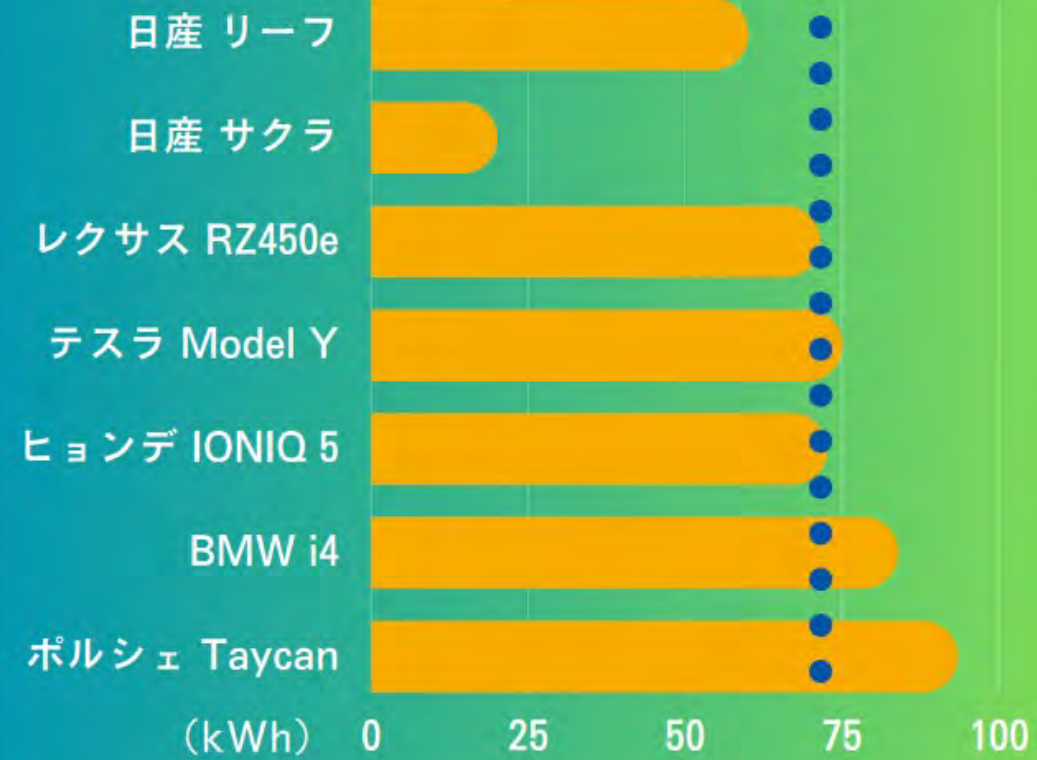
約400km 

軽EV

約200km 

EVモデル別のバッテリー容量

24時間で72kWh充電



往復可能な
おおよその範囲

半径200kmの円

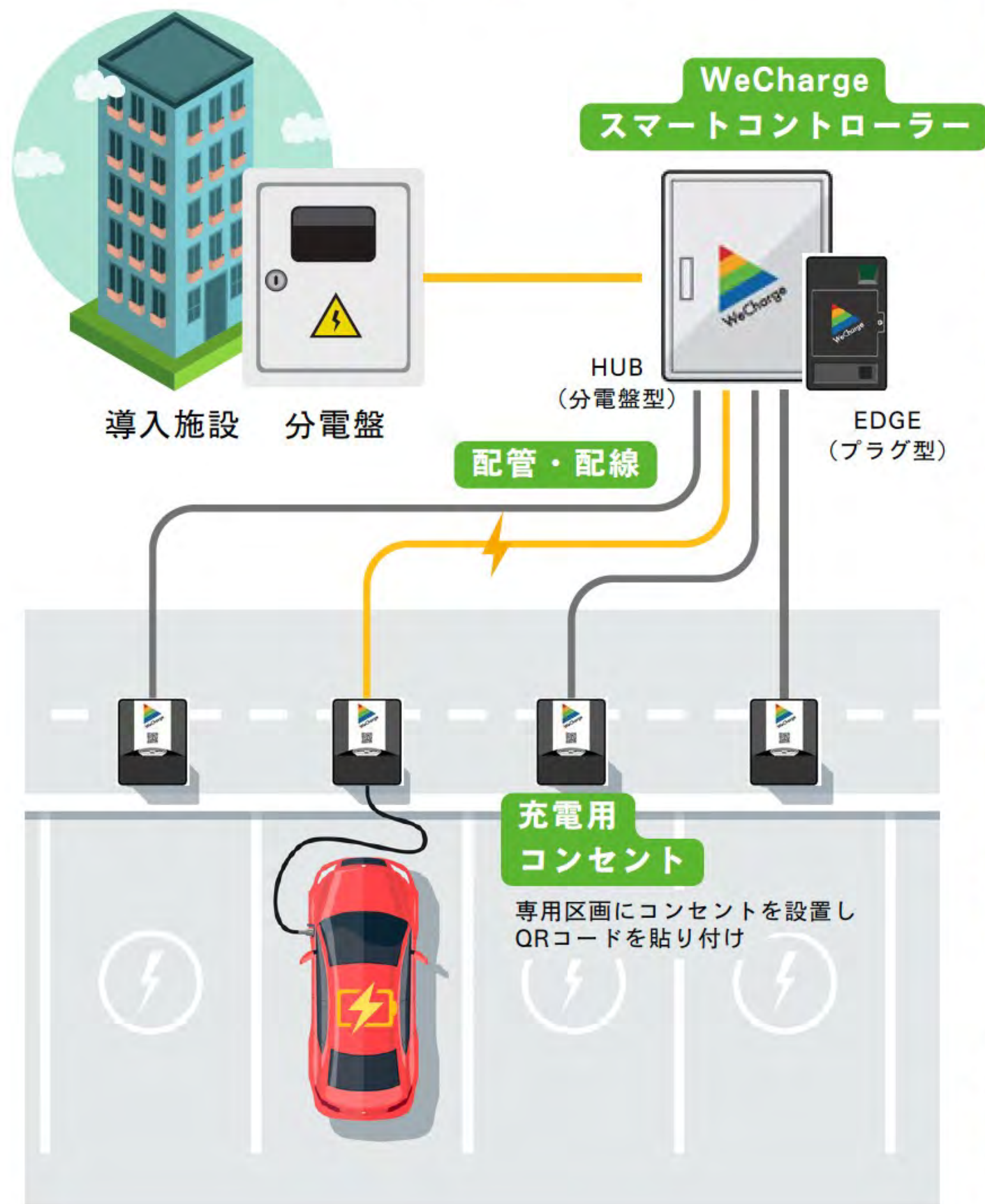


安価でたくさん設置可能な

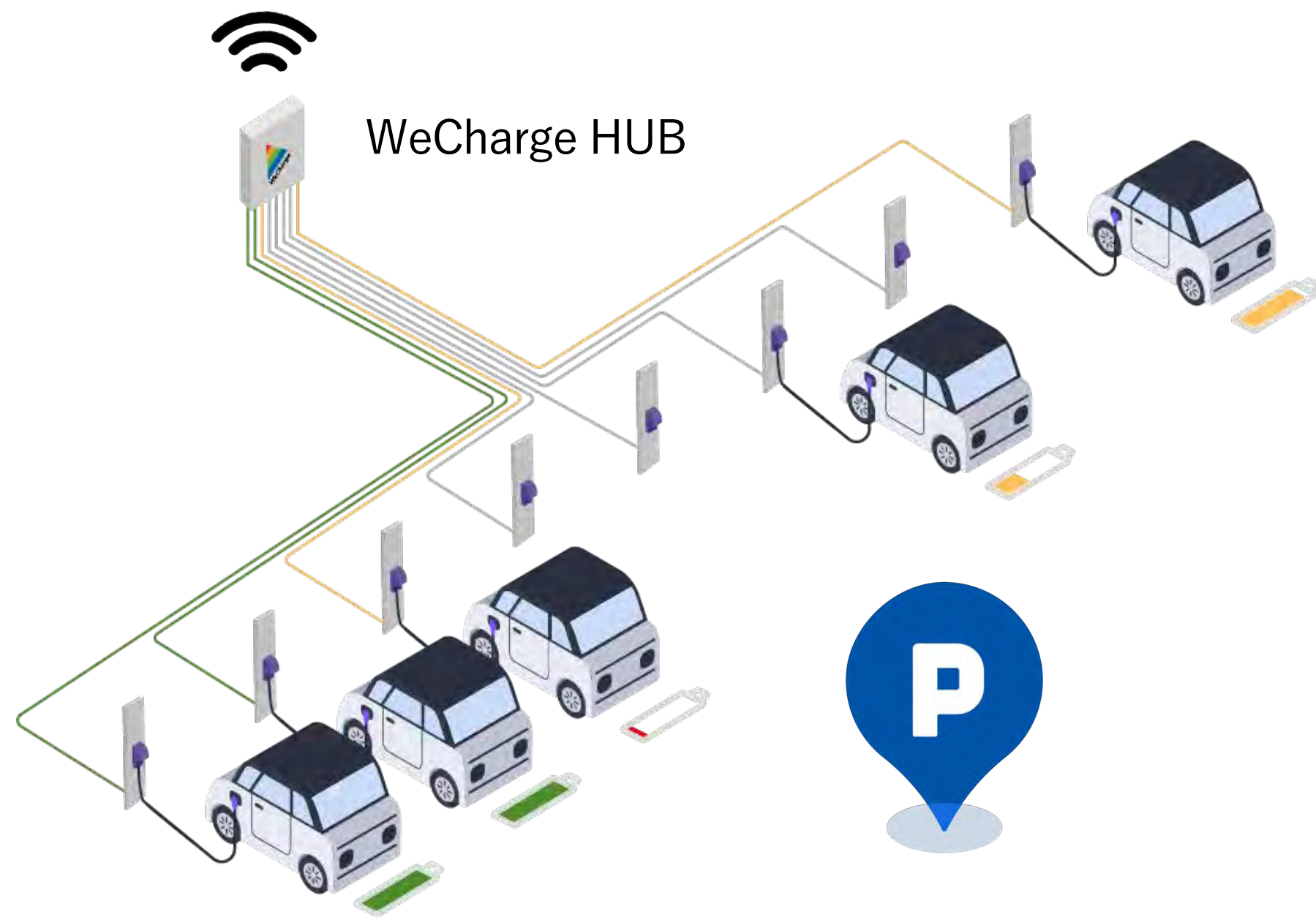
コンセントが一番



導入イメージ



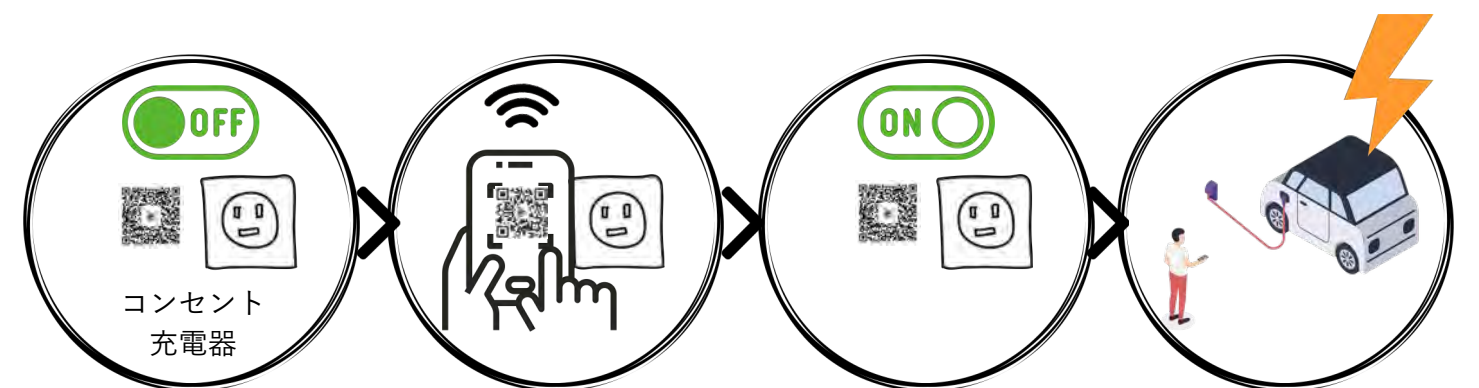
複数充電設備を制御



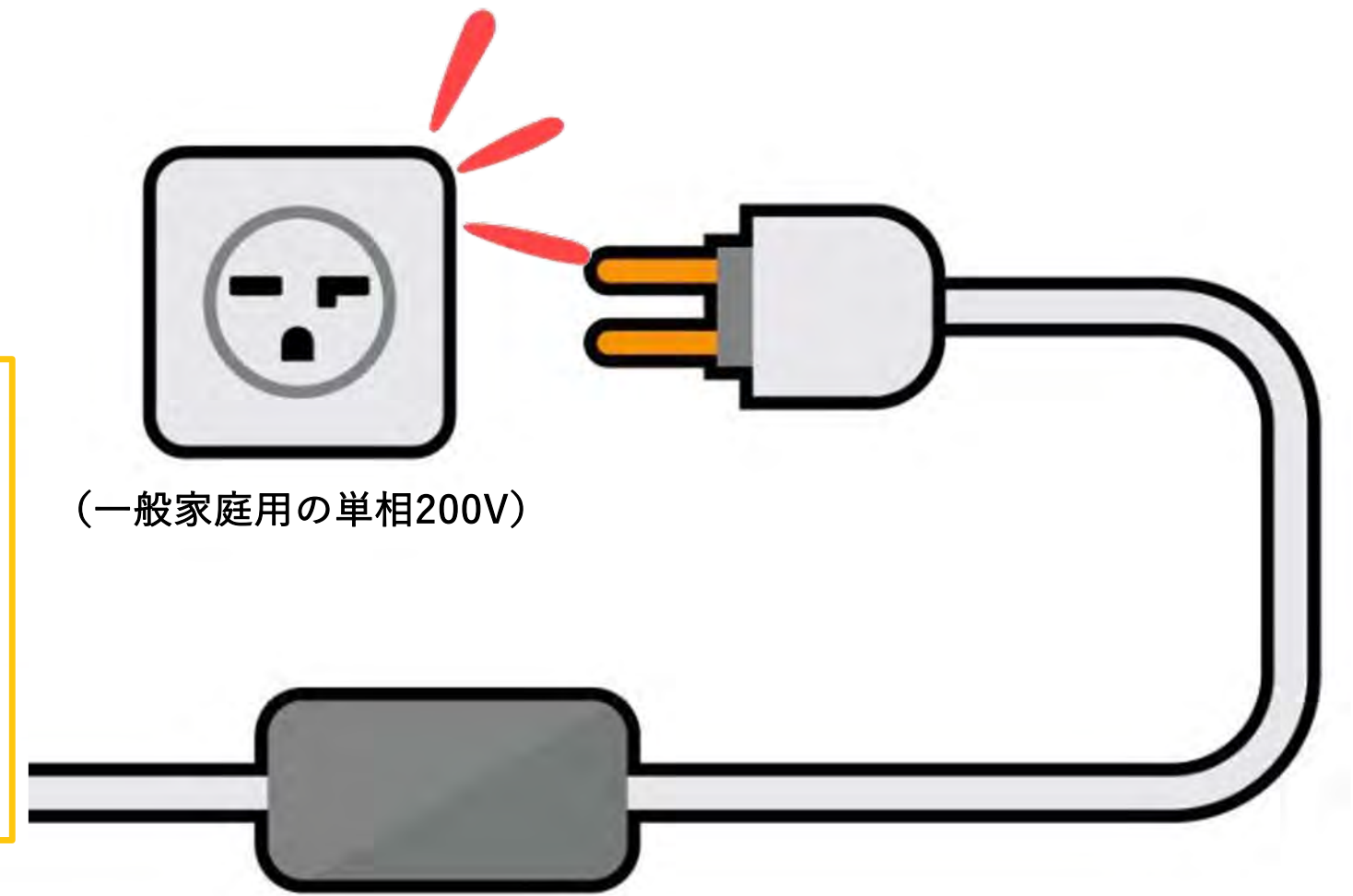
WeCharge HUB

WeCharge HUBは、多数のEV充電用200Vコンセントや普通充電器をWeChargeプラットフォームに接続し、多数台のEV充電を制御するスマート分電盤です。

限られた電力の契約容量の中でEV充電による電力のピークカット、ピークコントロールを行うことができます。



普通充電は、どのコネクタでも コンセントへは共通のプラグになります



機械式駐車装置にも対応

さまざまな種類の機械式駐車装置に対応

単純昇降式（地上&ピット二段～多段式）、昇降横行式（パズル式）、エレベーター式（タワー式）への導入もご相談下さい。

機械式駐車装置へのコンセント設置可否や施工依頼は保守会社/メーカーに確認が必要です。



パレットにコンセントを設置

機械式駐車装置のパレットにEV用コンセントボックスを設置することで、WeCharge充電システムを導入できます。

新築入替の際は、コンセント付の機械式駐車装置をご選択下さい。



ランニングコスト・ゼロ、全国一律料金！

WeChargeはシステム利用料や手数料などのランニングコストが一切かかりません。
非常にリーズナブルな充電料金を、わかりやすい全国一律料金でご提供いたします。



充電料金設定は 悩ましい

高すぎると、誰も使わなくなります。
安すぎると、赤字運営になってしまいます。

リッター単価が300円のガソリンスタンドは誰も利用
しないですよね？



WeChargeなら 安心かつシンプル！

電気代の全国平均単価に基づいて、常にリーズナブルな充電
料金を維持！
全国一律料金なので、ご自宅はもちろん、外出先や宿泊先
でも気軽に充電OK。

ケータイのポケット定額のように、毎月の走行距離に
応じて、オトクな受益者負担を実現できます！



充電サービス利用料金 kWh従量課金

充電利用者がお支払いになる料金です。

2023/10/1時点

Guest	Short	Middle	Long	Super Long
0 円 / 月	1,100 円 / 月	2,200 円 / 月	4,400 円 / 月	8,800 円 / 月
48 円 / kWh 相当	30 kWh 相当まで定額	60 kWh 相当まで定額	120 kWh 相当まで定額	250 kWh 相当まで定額
	超過料金 45 円 / kWh 相当	超過料金 42 円 / kWh 相当	超過料金 39 円 / kWh 相当	超過料金 36 円 / kWh 相当
1 時間充電時の金額目安 (200V/16A 3.2kWh 相当の場合)	定額内でのひと月走行距離目安	定額内でのひと月走行距離目安	定額内でのひと月走行距離目安	定額内でのひと月走行距離目安
153.6 円	195km / 月	390km / 月	780km / 月	1,625km / 月

上記の利用料金で、ご自宅だけでなく、外出先のWeCharge充電スポットで充電いただけます。

充電に使う電気代について

WeChargeはランニングコストが実質無料です

共有部の電気を用いる場合

管理組合に返戻

新たに電気を引き込む場合

WeCharge負担

- 地域別の実費相当方式（各地域の旧一般電気事業者の規制料金で算出 ※詳細は[Web参照](#)）で6ヶ月頻度で返戻します。有償1,078円で毎月返戻もできます。
- 新たに電気を引き込んでいただき、その電気代をWeCharge当社負担とする場合は、当社所定の基準がありご希望に添えない場合がございます。

WeChargeの特長



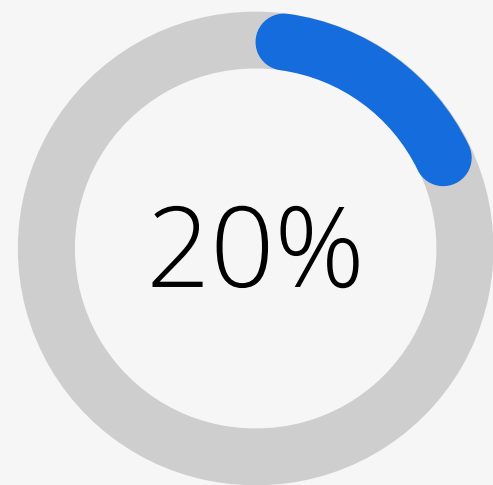
※1…充電サービス料金は、WeChargeアプリからクレジットカードでの引き落としとなります。
※2…充電の不具合やご利用方法など、お問い合わせの一次対応をいたします。

東京都・大阪府で始まる電動化に向けた動き

東京都 建築物環境計画書制度

	条件	整備基準	
		実装整備	配管等整備
戸建住宅	駐車場を有する全ての住宅	任意	1台分以上
戸建住宅以外 (集合住宅・非住宅)	10台以上の駐車区画を有する建物	1台分以上	駐車区画の20%以上 (実装整備分を含む)

集合住宅・非住宅でも、EV充電環境の整備が義務化

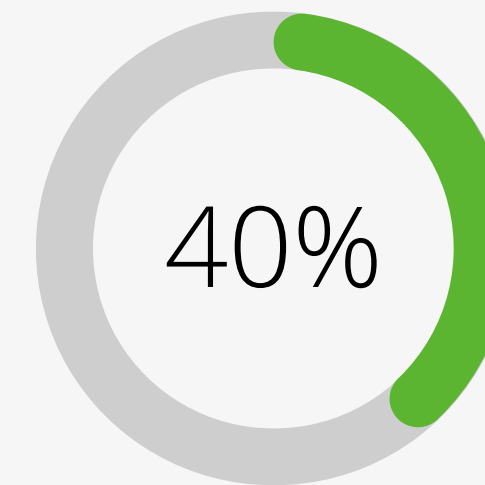


建物駐車場の
区画の20%以上
充電設備義務化

大阪府 おおさか電動車普及戦略

2030年までに		(参考値(2019年))	
◇軽乗用車を除く乗用車の新車販売に占める電動車の割合	10割	(41.0%)	
◇全ての乗用車の新車販売に占める電動車の割合	9割	(36.6%)	
◇全ての乗用車の新車販売に占めるゼロエミッション車の割合	4割	(0.9%)	

2030年には、大阪で電気自動車を見るのは当たり前



新車販売
40%がZEV

引用：東京都 建築物環境計画書制度
https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/green_building/gijutsu_kentokai.files/02_siryu1.pdf

引用：大阪府 おおさか電動車普及戦略
https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/5004/00400752/4-1_202207.pdf

「マンションなのでEVは諦めてます！」
をこの世から廃絶したい





**マンション住民にも、EV選択の自由を
「戸建てオーナーと同じ充電体験を！」**

集合住宅には WeCharge

利用する充電器・コンセントのQRコードを
スキャンしてください。



コンセントなので
メンテナンスフリー



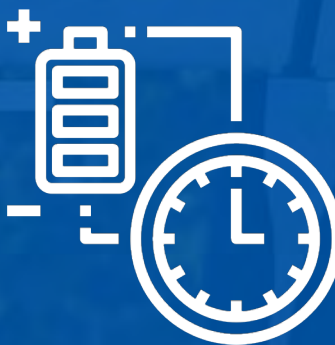
スマホで手軽に
充電をON/OFF



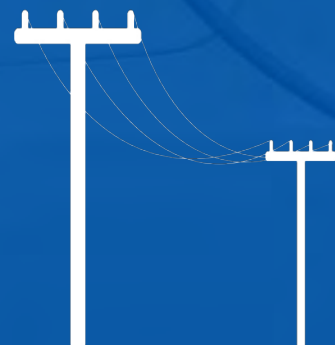
利用者が利用分を負担
受益者負担を実現



ランニング費用ゼロ
導入も補助金活用



充電制御機能で
電気代を大幅節約



EV用電源の別引込も
サポートします



EVシフトに向けて
資産価値を向上



災害や停電時には
EVが非常用電源に

お問い合わせ先

WeCharge電気自動車充電サービス

ユビ電株式会社

東京都港区三田一丁目1番14号 Bizflex麻布十番4階

hello@wecharge.com

www.wecharge.com

